

津波防災センターは、次の機能によって地域防災体制の強化などに貢献します

1. 大津波警報発表時の緊急的・一時的な避難施設として

大津波警報発表の際は、津波の浸水が想定される区域外へ避難することが原則ですが、逃げ遅れてしまった場合など、避難が間に合わない場合の緊急的・一時的な避難施設となります。（※）

2. 大津波以外の災害時における避難所として

津波防災センターは、避難所として指定しており、地震や大雨など、大津波以外の災害時には避難所となります。

3. 平常時における防災活動などの場として

平常時、センターの研修室は防災活動などの場として利用することができます。また、それ以外の集会、会議などの場としても利用することができます。

※大津波警報時の避難所(避難目標地点)ではなく、一時的・緊急的な避難施設です。津波襲来時に孤立し、また、地震の規模によっては 想定を上回る津波が襲来するおそれもありますので、海側への避難とならないよう浸水想定区域外へ避難することが原則です。別紙の【三八城、沼館・城下地区津波避難計画図<大津波警報発表時>】で、大津波警報発表時の避難目標地点を御確認ください。

八戸市津波防災センター 概要

津波防災センターご利用案内

- 住所 〒031-0071 八戸市沼館四丁目6番19号
- 電話番号等 TEL 0178-51-9983 FAX 0178-51-9985
- 利用可能時間 午前9時から午後9時まで
- 休館日 毎週月曜日、12/29から1/3まで
- 使用料

室名	4時間あたり 使用料	面積・会議等収容人員
研修室A	2,100円	194.64㎡・100名程度
研修室B	1,200円	95.01㎡・50名程度
調理室	1,300円	36.85㎡・調理台×2

ご利用の際は、津波防災センター（TEL 51-9983）まで御連絡ください。

！お知らせ！ 市が発令する避難勧告等の名称が変更されました

平成28年8月の台風第10号では、自治体が発令した避難準備情報の内容が正しく理解されず、避難対象者が適切な避難行動を取れなかった地域がありました。このため、避難情報がより分かりやすく伝わるよう、国では避難勧告等の名称を変更しました。

旧名称	新名称	避難行動
避難準備情報	避難準備・ 高齢者等避難開始	○要配慮者の方は避難を開始してください。 ○その他の方は避難の準備を始めてください。
避難勧告	避難勧告	避難を開始してください。
避難指示	避難指示（緊急）	ただちに避難してください。

※避難勧告については、名称の変更はありません。

八戸市津波防災センター概要

施設概要

- ・所在地 八戸市沼館四丁目6番19号
- ・敷地面積 3,265.14㎡
- ・延床面積 1,497.36㎡
- ・収容者数 大津波時の一時的避難施設（屋上使用時）:877人、避難所:119人
- ・構造 鉄筋コンクリート造3階建て
- ・避難階（2階）床面高さ 10.96m
- ・最高の高さ 19.96m

外観

○避難者の安全確保

1階天井は、床スラブの上に梁が載る「逆梁工法」
地震による1階への天井落下を防止。



○地上高

避難スペース床面は
想定浸水深+4mの
余裕高を確保。床面高さ 10.96m

○非常用トイレ

屋上避難を考慮。簡易
トイレ男女各5基を配
置。



○津波への対応

- ・コンクリート基礎 2.7m
- ・基礎杭 800mm×46mを 24セット打設

○駐車場

避難者や来館者に対応するため、
89台分確保。

○津波への対応

想定する津波波圧は
最大約20トン/㎡
⇒1階は階段室を除き
柱と梁のみ、外壁部分
は金属パネルを採用し、
津波圧力を受け流す。

○非常用発電機

- ・浸水を避けるため、
屋上に2基設置。
- ・津波災害時でも、
照明、採暖等の最
低限の電力を確保。
(最大 約72時間)



○屋上

予め通路部分を色分け。
混雑時、雨天時などの
転倒を防止するため、
滑りにくい粗面仕上げ
を採用。



内観等

○避難時の配慮

避難方法、経路など
表示板を設置。
入口となる扉、手摺
は、安全色である緑
色とし、緑色を探す
ことで安全階に誘導。



○プライバシー対策等①

乳幼児への授乳やオ
ムツ交換等を想定。
別個に10㎡程度の
部屋×2室を準備。

災害時備蓄品

○避難期間1日・3食分を基本に備蓄しています。

- ・難燃毛布、アルミブランケット 計880枚
- ・水（500ml入り） 2,640本
- ・食料（フリーズドライ缶詰） 2,640食
- ・使い捨て非常用トイレ（便袋） 4,400枚
- ・トイレ用紙（480ml入） 5箱
- ・ラジオライト 8台
- ・救急セット（50人用）

※以下、少量備蓄品

- ・乳幼児用紙おむつ
- ・粉ミルク
- ・粉ミルク（アレルギー除去）
- ・使い捨て哺乳瓶
- ・おかゆ
- ・生理用品

2階平面図



○冬季避難対策

FF式石油ストーブ
設置。停電時でも非
常用発電機により使
用可能。



○プライバシー対策等②

避難スペースとなる
研修室はカーテンで
5室に分割可能。



○公衆無線LAN

避難時の情報収集環境を整備。